

日新
 荷日新 荷に日に新たに
 日日新 日々新たに
 又日新 又日に新たなり
 出典 「大学」

日新地区だより 29号



ゆめ
 にっしん

「ゆめ・にっしん」は、平成18年2月創刊。「日に新たに」ゆめある日新まちづくりの一翼を担い、地区文化の向上を願って今日に至っています。

発行：地域の誇り・まちづくり日新広報部会
 文京5丁目1-8 日新公民館
 発行日：2014(平成26)年3月20日

「日新かるた見て歩きMAP」を持って飛びまわろう！

勝木文彦 (いきいきライフセミナー運営委員)

平成22年、日新地区の歴史をはじめ文化や生活習慣などを後世に伝える目的で「日新かるた」を刊行。その後、公民館前に大きな「かるた」地図(縦127cm、横180cm)を制作しました。そして今年度は、「かるた」をさらに進化させようと取り組んできました。それは、「日新かるた見て歩きMAP」の作成です。地図と読み句、解説文で構成されており、「かるた」に掲載されている内容を実際に体感してもらおうというものです。

2月末に完成しましたが、そこに至るまでには大変な苦労がありました。解説文を書くのに取材をしたり、資料を調べ直したりの連続でした。解説文に振り仮名をつけるのにも大変な労力が必要でした。また、周遊時間を現地調査中、突然の豪雨に見舞われたりもしました。印刷の校正にも、一字一句神経を使いました。広辞苑や老眼鏡が大活躍でした。果たして、打合せ回数は18回にも及びました。

ご家族で、グループで、「日新かるた見て歩きMAP」を持って、是非、「日新」を巡っていただきたいと思います。



チャレンジ！ キャラクター弁当 & シフォンケーキ

日新公民館でキャラ弁作りやケーキ作り教室の講師を務めて頂いている田中友美さん(大宮5丁目)に寄稿していただきました。

田中友美 (キャラベニスト & シフォンナー)

上の子の幼稚園のお弁当でキャラ弁を作り始めてから6年近くなります。初めは上の子に喜んで欲しいと始めたお弁当。どうせ作るなら自分も楽しんで作りたいと、週に2回のお弁当も出来るだけ毎回違うキャラクターのお弁当を作ってきました。

お弁当作りでのこだわりは、彩りや栄養もですが、食べやすく、あまり手掛け過ぎていないものを心がけています。食べにくくは、せつかく作っても喜んでもらえませんので…。勿論、子供の喜んでくれるキャラクター、また、お弁当で季節も感じられるようにと時期やイベントも意識してお弁当を作っています。

また、毎日のようにシフォンケーキも焼いています。手軽に焼けて、気軽に食べられるところがシフォンケーキの良い所で、我が家では朝ごはんにはパンの代わりに食べることが多いです。今ではお友達やお知り合いの方にも頼まれて焼かせていただく事も増えました。これからも、色々な味のシフォンケーキ、子供たちが喜んでくれるデコシフォンケーキを沢山作っていきたいと思っています。

今、県内各地の公民館、市や県などのイベントなどでキャラ弁教室やシフォンケーキ教室をさせて頂いています。準備など大変ですが、参加して下さった方が完成後に見せてくれる笑顔、お子様の笑顔が嬉しくて…。

これからも楽しく、笑顔で帰っていただけるような教室を開催していけるように頑張りたいです。



「きらめきフェスティバル」
 2013.6.22 ユーアイふくいにて
 (前列中央が田中さん)



「カジダン パパでもできる
 簡単キャラ弁作り」
 2013.12.1 アオツサにて

交通指導員募集！

住民の安全・安心のために
 ぜひ力をお貸しください！

☆任期：平成26年4月1日
 ～平成28年3月31日

☆70歳未満の方

<問い合わせ先>

日新交通安全推進協議会
 会長 山口 満
 (文京5丁目) ☎25-5325
 興味のある方は、お気軽に
 お問い合わせください。
 (女性大いに歓迎)

福井市消防団
 日新分団長 木村茂治

まだまだ若い日新分団ですが、地域の皆様の温かいご支援並びに、私たちの活動に際し、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

その主な活動は、消防・防災の知識や技術を習得し、火災発生時における消火活動、地震や風水害時の救助・救出活動、警戒活動などに従事し、毎月訓練を行い、初期消火や防災意識の呼びかけ、地区防災訓練等にも積極的に参加しております。



消防訓練 2014年2月

地域防災力の育成と強化を目指し、自分たちの町は自分たちで守ることをスローガンとして、日新地区自主防災会の方々と消防職員と共に活動を行っています。

平成二十一年四月一日に消防団の管轄が小学校区域に変更となり、新たに福井市消防団日新分団と名称を変更し、七名の団員でスタートしましたが、現在では定員の二十名が所属しています。

福井市消防団日新分団について

日新春秋



地域の誇り・まちづくり事業

地域の人々が主体となって実施している「まちづくり事業」について、各部会の最近の活動状況を紹介します。

環境部会 - 植え込みを葉ボタンとチューリップできれいにする -

11月24日(日)、地区一斉清掃が行なわれました。この日、環境部会員は、底喰川右岸の植え込みの整備を行いました。(公民館日より『日々草』12月号で既報)

植え込みは、今日まで草刈り程度の管理を行ってきましたが、すぐ雑草が繁茂、また、心ない犬の飼い主により『フン害』があるとを絶たず、とても「きれい」とは言えない状況でした。

環境部会では、この状態を何とかしたいと、協議を重ねてきました。その結果、テストケースとして植え込みの一つを全面的に整備することになりました。



<植え込みの整備結果>

作業は、全体の掘り起こしと雑草の除去、そこに葉ボタンの植え付けと、チューリップの植え込みをしました。整備は、散策される方々に「きれい」を感じてもらおうとの取り組みで、試験的に実施したものです。

この結果を踏まえて、もう一つの植え込みも整備したいと考えています。整備案としては、多年生の草花や花木などが考えられます。是非皆さんのアイデアをお寄せ下さい。

まちづくり日新では、地域の環境美化に一生懸命取り組んでいます。堤防及び底喰川へのゴミのポイ捨ては是非やめていただくとともに、地区の皆さんに気持ちよく散策していただくために、ペットを飼われている方々も美化活動へのご協力をお願いします。(前川栄寛)



<高橋部会長から取り組みの説明>

交通部会 - 「さんさんバス」試行運行の実績査定せまる!! -

日新地域の皆さん、毎日お元気でお暮らしてはいかがでしょうか。日頃の御協力を心より感謝致します。

私達の日新さんさんバスの運行も一昨年の11月よりのスタート以来、早17ヶ月間が経過し、トライアル期間の第一次実績査定(3月末)を迎えようとしております。住民の努力とその総意の結集により何とか立ち上げることができたコミュニティーバス事業ですが、これまでの経過を見ると、急激な成果ではないものの着実にその実績が伸びていることは事実であります(スタート時点 170~180名、昨年6月430名=最高、1月350名、平均約300名)。



まだまだ役所の指標よりは下回っているものの、超高齢化時代を迎える社会環境を勘案し、少しでもお年寄りの方々の活動フォローができることを前提に、絶対にあきらめることなく、我々部会員一同一丸となって、残された期間(9月末第二次査定)を「ニューシンボル日新さんさんバスの継続有き」を合言葉として鋭意努力を重ねます。

★4月よりの「600(ろくまるまる)作戦」遂行のために……

- ① 新計画完全実施による乗車増員推進。(日原町ルート、土曜運行)
- ② 特に新自治会長さんの強力なる後押しを。
- ③ 各組織団体の積極的活用……公民館中心ルート。
- ④ 食事会、温泉、同好会の参加人員の拡大。

宜しくお願ひ致します。(山口 満)

文化部会 - 恒例の百人一首かるた会を実施 -

2月8日(土)朝10時、約60名が集まり、恒例の百人一首かるた会を開催しました。雪がちらつく中、多数の参加者があり感謝感激をしています。



ゲームの順番は最初に坊主めくり、次に日新かるた、3ゲーム目が百人一首で行いました。各ゲームの優勝者は下記のとおりです。

百人一首では上の句で札を取る子もいて驚きです。その後は表彰式を行い、2階に上ってカレーライスでお腹を満たしました。食事中はひまわり児童館の藤井館長さんから、絵本を開きながらのお話をいただきました。まことにありがたいことです。(山崎 豊)

<ゲーム優勝者>

--ゲーム名--	--子どもの部--	--大人の部--
坊主めくり	塩田夏姫ちゃん 39枚	藤井先生(館長) 76枚
日新かるた	井上雄太君 22枚	下中洋子さん 11枚
百人一首	半田翔太君 45枚	松井登志子さん 35枚



わがまち 乾徳第8自治会

自治会員 森坂克彦

当自治会は、乾徳1,2丁目の境界で西公園西大通りに面した乾徳第7,8,9自治会の中に位置します。現在の世帯数は17、人口48人、住宅店舗数3です。創立は昭和4年で、今年(平成26年)まで85ヶ年間、46代の町内会長(自治会長)が受け継いできました。

創立時は13世帯でしたが、終戦直前(昭和20年)は39世帯、171人、町費月70銭でした。この間の主な出来事として、陸軍大演習(昭和8年)、婦女子の竹槍訓練(昭和19年3月)、福井大空襲(昭和20年7月)などがありました。この記録は空襲当時の町内会長が必死に書類を持ち出した貴重なものです。



<竹槍訓練 昭和19年3月>

昭和20年~40年代の出来事としては、間借り世帯から戸建て住居への変化、空襲後の世帯数激減(15世帯)、福井大震災による町内建物の壊滅的打撃(昭和23年6月)、大水害(同年7月)、水洗トイレの利用開始(昭和31年12月)、子供会(15名)の活動活発化などがありました。昭和40年代には世帯数35、店舗数22に増加しました。またこの間、町名変更があり(昭和36年に乾新町から乾徳町1~4丁目、昭和40年に乾徳1~4丁目に改称)、乾徳町大通り商店街を形成するに至りました。

昭和50年代~平成6年頃までは、若い人が郊外に出て行き、世帯数が減少傾向にありました。昭和55年に福井乾徳郵便局が当町内に移転し業務を開始、昭和56年1月には大豪雪の除雪費用が100万円以上となり、翌年より災害積立金の徴収(月300円)を始めました。なお、平成5年から神明神社祭礼時の三地区巡行がなくなり、乾徳地区内のみ、屋台・子供神輿の周回となりました。

平成7年以降、当自治会の規約を制定し、昭和44年の覚書規約を正式な文章に書類化して各戸に周知しました。平成16年には世帯数20、店舗数6で、このままの状態が暫く続き、平成20年以後は次第に減少しています。これは震災後頃に建てた住居が老朽化し移転したため、その跡が駐車場となり空地が目立つようになってきました。

詳細は拙書「乾徳地区の今昔」を参照して下さい(公民館にあります)。

日新愛ファミリー

乾徳2丁目 石川・加藤家

現在7人で住んでいます。女四人四世代で撮りました。宜しくお願ひします。



広報部会より：昨年8月から日新公民館に勤めていただいている石川主事の御家族です。

「日新かるた」紹介(4)



藤島中学校の近郊には田んぼが広がっています。近くには武道館、遠くには深谷の山々を望むことができます。春には早苗の緑のじゅうたん、梅雨時になるとカエルの大合唱、秋には見事に実った稲穂で黄金の海となります。四季を感じさせるこの素晴らしい田園風景は心の古里としていつまでも残ってほしいものです。(日新かるた解説書参考)